有限会社リング

第 23 期　　環境経営レポート

（対象期間：2022 年10月1日～ 2023 年9月30日）

エコアクション21
認証番号 0013053

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

作成日：　2023年10月17日
更新日：　2024年6月20日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

私たちは安全の確保を追求し、
すべての人があんしんな社会を実現します

経営理念の実現は全社員さんとその家族、取引先、お客様、そして自分自身の幸せのためです。
幸せになることを目指すために自律して仕事に取り組み、
お客様や地域に感動を与えることができるプロの仕事人を目指します。
市場が求める商品・サービスの一歩先を追求しつづけ
企業活動を通じて地域社会から信頼され社会貢献ができる会社でありつづけます。

※自律とは：他からの支配・制約などを受けずに自分自身で立てた規範に従って、行動すること。
※社員の幸せの定義
・成長し続ける意欲を満たす（成長し続ける社員さんを求めている）
・商品・サービスの提供を通じてお客様（社会）の必要とされること（お客様に役立つことを喜びとする社員さん）
・リングで働くことで家族も安心してもらえる

□ごあいさつ

2001年に創業して今まで営業成績を上げることに専念してきましたが、それだけでは理念にある「あんぜんな社会の実現」はできないと判断しました。
会社の維持発展を継続していくために、環境問題にも取り組み、微力ながら社会に役立ち利益を上げることもできて、結果として社員が幸せで、安定した生活ができることを目指す所存です。
いままで、計画、実行、確認、改善の手順すら実行することができませんでした。
すこしづつ社員の意識も変わり、改善していく仕組みを作ります

環境経営方針

＜環境経営理念＞

本業である防犯・防災用品の普及を通じて、地球温暖化問題への取り組みや産業廃棄物の削減、地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。
　SDGｓの12.5 にある「2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。」に貢献できるよう分別に努めリサイクルできるものはリサイクルし、また廃棄物を減らす努力を、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制や弊社が約束したことを遵守します。

２．効率的な営業活動や仕事の改善を通じて二酸化炭素排出量の削減に努めます。

３．施工方法の工夫により一般廃棄物の発生抑制、工事に伴う廃棄物の適正管理に努めます。

４．適正な利用により水使用量の削減に努めます。

５．作業で使用する塗料（さび止め塗料）などを適正管理に努めます。

６．防犯設備設置に伴う企画設計を行い、あんしんなまちづくりに貢献することによって企業価値向上を目指します。

７．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2019年10月1日
改定日： 2022年1月16日

有限会社リング
代表取締役 齋藤陽子

□組織の概要

更新日： 2023年9月25日

（1）名称及び代表者名

有限会社リング

代表取締　齋藤陽子

（2）所在地

本　　社　　大阪府大阪市港区南市岡二丁目一番二十一号
（2020年4月24日に上記住所に移転しました。）

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者　代表取締役　齋藤陽子　TEL： 06-6581-2880
担当者　代表取締役　齋藤陽子

（4）事業内容

セキュリティシステムの企画・設計・施工

（5）事業の規模

売上高　75 百万円

	本社
従業員　名	4 名
延べ床面積　㎡	300 ㎡

（6）事業年度　10 月　1 日 ～　9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　有限会社リング
対象事業所：　本社

対象外：　なし　全社全活動認証範囲
活動：　セキュリティシステムの企画・設計・施工

公園に設置した子供見守りカメラ

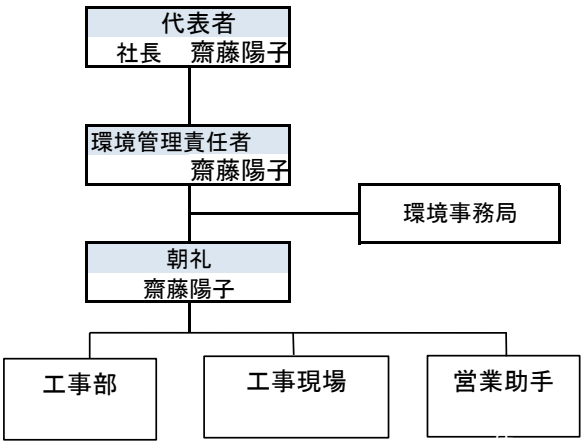
お客様のところに行って施工します

イベントで防災備蓄品を紹介していま

資格リスト
総合防犯設備士：2名
防犯設備士：5名
第二種電気工事士：3名
第一種電気工事士：1名
1級電気工事施工管理技士：1名
消防設備士 乙種 第6類：2名
消防設備士 甲種 第4類：2名
インターホン設備（システム）劣化診断士：1名
高所作業車運転者(10m以上)：4名
光ファイバーケーブル技術習得実習：1名
工事担任者DD3種：2名
高圧・低圧電気取扱作業者 特別教育：受講済み

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2022年9月25日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、朝礼の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
朝礼	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	20期	21期	23期
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	14,022	10,872	10,612
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	288	288	264
産業廃棄物排出量	kg	250	300	810
水使用量	m^3	0	0	0

※二酸化炭素排出係数　　0.495　kg-CO2/kWh　電力会社の調整後の係数
※水道については個別メーターがないため、把握できません。

□環境経営目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		21期（基準値）	23期（目標）	23期（実績）	評価	22期（目標）	23期（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,210	3,146	2,817	○	3,114	3,082
	基準年度比		98%	88%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	7,516	7,366	7,795	×	7,291	7,216
	基準年度比		98%	104%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	10,726	10,512	10,612	×	10,404	10,297
一般廃棄物の削減	kg	288	268	264	○	268	259
	基準年度比		93%	92%		93%	90%
混合廃棄物の削減	kg	150	135	620	×	120	105
	基準年度比		90%	413%		80%	70%
水道水の削減	行動目標（次項による） メーターがないため数値は把握できない						
機器施工の受注促進	万円	3,935	7,870	7,512	×	8,264	8,657
	基準年度比		200%	191%		210%	220%
企業価値向上の取り組み	行動目標（次項による）						
地域での環境活動	行動目標（次項による）						

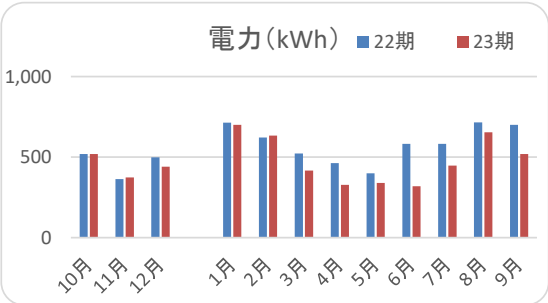
※上記以外で補修塗料などの少量の化学物質について管理を徹底しています。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成　×未達成

活動：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

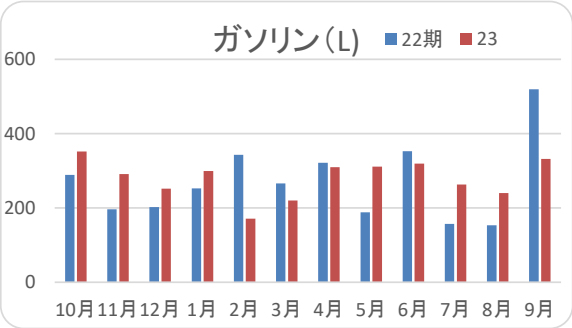
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エアコンはこまめに消したり、タイマーを使って自動起動させることで￥不快なときがないように調節できた。 照明器具は使う場所だけ点灯させることをルール付けとした。 達成手段を継続する。空調温度の適正化については設定温度を変更する。
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	×	
・不要照明の消灯、間引き照明の実施	○	
・仕事の効率化による定時退社	△	
・フィルターの点検・清掃	△	
・クールビズ・ウォームビズの推進	×	



取組紹介欄
照明器具はすべてLEDを使用し、省エネに努めています。
スイッチはエリアごとに個別にしており、電力の無駄遣いをなくしている。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
22期	519	364	499	714	621	523	462	399	582	582	716	700
23期	519	373	441	700	634	417	328	339	319	448	654	519

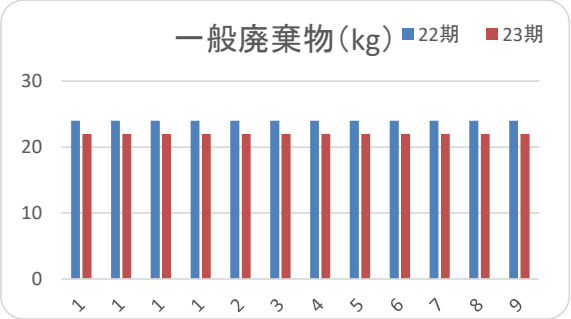
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	本年度車両を購入したが、低燃費の車両に更新できた。昨年度より業務量が増えているが、効率は上がっている。燃料費込みのレンタカーの 利用や、交通機関の利用も含めて業務効率は進めることができた。
・エコドライブ推進	○	
・公共交通機関・路線便の利用	○	
・走行距離の短縮	×	



取組紹介欄
エコドライバープロジェクトへの参加表明を行いました。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
22期	289	196	202	253	343	266	322	188	353	157	153	519
23	352	291	252	299	171	220	310	311	319	263	240	332

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	分別は苦でなくなった。印刷物も依頼されない限りもっていかなくて済むように、動画の説明書も作成した。ペーパーレスのアイデアを出し合い実践していく。
・分別の徹底	○	
・紙類のリサイクル化	○	
・印刷物の削減、電子化	△	



取組紹介欄
分別を徹底している。
廃ダンボールは地域に寄付をし、再利用をしている。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
22期	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
23期	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	分別し専門の廃棄物処理場に持ち込むことで費用を抑えることができた。リニューアルの作業が増えたため、取り外した機器を持ち帰り廃棄することが多かったため、廃棄物量は4倍以上となった。施工内容の変化で4倍となったが今後もその傾向が継続するので、本年度排出量は妥当として次年度の基準地とする
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・再資源化先の開拓	△	
・端材の削減	○	

取組紹介欄
工事に伴う廃棄物においても分別を徹底し、混合廃棄物の割合削減に努めている。

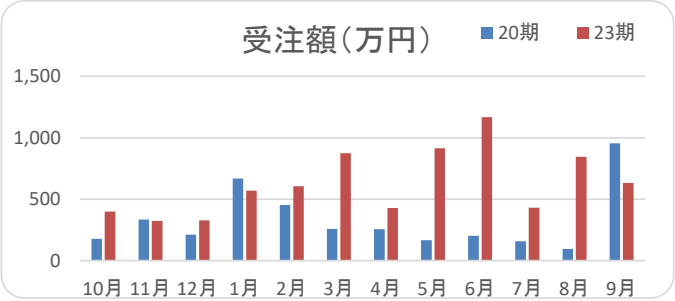
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
22期	0	0	40	0	0	60	0	0	50	0	0	0
23期	0	0	0	0	0	0	0	0	620	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標（メータがないため把握できない）		手洗いトイレのみの使用のため、節水意識を継続する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		

取組紹介欄
節水の啓発ポスターを貼り、また音姫の使用により、水使用量削減に努めている。

機器施工の受注促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	製品がなく施工できなかった。しかし今後につながる行動もできていないため今後は将来を見据えてしっかり営業していく必要がある。経営指針で定める目標達成のため、積極的にフォローし新規開拓も行っていく
顧客訪問の徹底	○	
鍵屋さんへの営業	×	
経営審査を受け公共入札工事に参加できるようにする	×	

取組紹介欄
動画作成し、販促活動を行っている。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
20期	178	334	211	668	453	259	255	166	203	158	95	955
23期	399	322	327	569	606	873	428	914	1,168	430	845	631

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	本年度の活動はできましたが、次年度は目標達成手段を具体化してここに評価ができるように検討する。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目）	×	
企業価値向上の取り組み	**達成状況**	**取組結果とその評価、次年度の取組内容**
・資格試験への取り組み	○	すべて手付かずだった。目先の作業に追われすぎた。経営指針のSWOT分析をベース業務と直結した目標達成プランを検討する。
・BCP構築準備	×	
・提案力向上	○	
・SDGｚへの対応	×	
地域での環境活動	**達成状況**	**取組結果とその評価、次年度の取組内容**
ダンボールの寄付	○	後半は日曜日に顧客を訪問する気合が多く朝市に参加できなかった。 段ボールは隣のタバコ屋さんが預かってくれることになり、 タバコ屋さんが月一度の」廃品回収に出してくれるようになった。地
小学校での避難訓練の支援	×	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（混合）
建設リサイクル法	該当なし
労働安全衛生法	補修塗料
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	安全管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境に関する苦情等

対象年度は苦情等ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定:　火災の発生

■実施日：　2022/12/27	■実施場所　本社
■参加者：　代表者及び従業員全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 改めて避難経路の確認等を行えた。	手順書の変更の必要性 □　あり　☑ なし

■実施状況の様子
避難経路を改めて確認した。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年10月17日

【前回の指示への取組結果】
経営の課題とチャンスを考慮して変更する。引越し後のデータが1年間収集できたので、今期を基準年度として計画する。（基準値変更人員削減のため代表者が環境管理責任者を兼ねる。）以上対応済み。

＜情報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等）		◇環境経営方針 2022.1.16改訂が最新版 変更しない。
◇環境経営目標・計画の達成状況	➡	◇環境経営目標・環境経営計画 事業量の変動が大きいため、次年度は今期実績を基準年度とする。
◇その他		◇実施体制他 変更なし

総括
目の前のやらないといけないことに、追われる1年でした。固定費変動費を減らすため、廃材が出ないようにしたり、リサイクルできるものはリサイクルを心掛けました。来期は自動車燃料削減評価として、燃費評価の準備をします。毎年作成の経営指針書に従い工事の効率化、情報収集、営業力UPのための教育訓練、人材確保に努力をして企業価値向上に努めていきます。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	□ 変更なし	☑ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり